

2022年度

事業報告書
決算報告書

(2022年4月1日～2023年3月31日)



一般財団法人宝塚市保健福祉サービス公社

(目次)

事業報告書	頁
1. 総括	3
2. 理事会・評議員会に関する事項	6
3. 組織及び職員に関する事項	8
4. 事業の実施に関する事項	11
(1) 在宅の高齢者等に対する保健福祉サービスに関する調査研究等	11
(2) 在宅の高齢者等に対する保健福祉サービスに関する知識の普及啓発	11
(3) 介護技術等研修事業	12
(4) 苦情解決第三者委員会	12
(5) 介護老人保健施設事業	13
(6) 通所リハビリテーション事業	13
(7) 訪問リハビリテーション事業	14
(8) 通所介護事業（池ノ島デイサービスセンター）	14
(9) 訪問看護事業	15
(10) 訪問介護事業	15
(11) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業	16
(12) ごてんやま居宅介護支援事業	17
(13) こはま居宅介護支援事業	17
(14) 御殿山地域包括支援センター事業	17
(15) 小浜地域包括支援センター事業	19
(16) 障害者指定・特定相談支援事業	20
(17) シルバーハウジング生活援助員派遣事業	21
(18) ファミリーサポートセンター（育児）事業	21
(19) 介護ファミリーサポートセンター事業	21
(20) 言語訓練事業（話咲会）	22
(21) 介護予防普及啓発事業（いきいき百歳体操）	22
(22) ステップはつらつ体操教室	23
(23) 認定調査ステーション	23
(24) 視察等受入状況	24
決算報告書	
1. 正味財産増減計算書	29
2. 正味財産増減計算書内訳表	31
3. 貸借対照表	35
4. 財産目録	36
5. 財務諸表に対する注記	37
6. 附属明細書	39
監査報告書	
1. 監査報告書	43

2022年度
事業報告書

(2022年4月1日～2023年3月31日)

一般財団法人宝塚市保健福祉サービス公社

1. 総括

2022年度は、第4次中期経営計画（チャレンジプラン 2022～2026）の初年度にあたり、各部門において目標達成に向けた取り組みを推進いたしました。また、新型コロナウイルスへの感染予防対策も継続し、関連する取得可能な補助金についても適宜申請することが出来ました。ステップハウス宝塚においては、施設の老朽化にともなう大規模空調修繕工事の未終了箇所（南棟1F及び北棟レクレーションルーム）について11月から3月にかけて工事を行いました。空調機器の入れ替えにともない個別空調化され、フレキシブルな運用が可能となりました。さらに、公社内ネットワークシステムの再点検や事務一元化の検討など事務処理体制の見直しを積極的に行いました。

一方、事業面におきましては、ステップハウス宝塚の稼働率向上、その他事業においても新型コロナウイルスの影響から徐々に回復し、人材不足の中ではありますが、収益が向上しております。また、委託事業である介護ファミリーサポートセンターについては、今後のあり方について高齢福祉課との協議を行いました。

上記の結果、介護保険事業における収入は、1,133,464,081円（対前年度比107.5%）、支出については、1,070,498,115円（対前年度比103.9%）となり、収支差額は62,965,966円と前年度と比べ38,710,606円の大幅な増益となりました。

また、公益目的事業の収入につきましては、対前年度比3,973,257円増の69,821,713円、支出については対前年度比4,240,827円増の90,496,988円となり、この結果、収支差額は前年度と比べ267,570円増加の△20,675,275円となりました。

これを受け、2022年度における当公社の収支決算につきましては、経常収益1,204,117,972円、経常費用1,172,438,934円、収支差額は31,679,038円と対前年度比42,743,309円のプラスと大幅な黒字となりました。黒字決算となったことにより、特定資産1億円取崩し分への対応、職員への還元、内部留保の3点に充当すべく利益配分を行う予定にしております。

各部門における総括は次のとおりとなります。

（1）管理相談部門

総務課におきましては、チャレンジプランに掲げていました戦略の中から、2022年度は人事計画の策定、定年制の引き上げ、事務一元化について進めております。まず、ここ数年、人材不足等により計画的な人事異動を行うことができず、管理職育成が滞っておりました。本年度は、滞留年数の長い職員や仕事の恒常化が懸念される職員等の把握、また、キャリアアップも視野に入れた定期的で計画性のある人事計画の策定を進めるべく一歩として、管理職等の異動を行いました。また、継続的な悩みとしている人材不足については、正規職員定年制度を従来の60歳から65歳に引き上げることで、技術を持ち働く意欲のある職員が長く働く選択ができるよう規程を改定いたしました。そして、将来を見据えた事務職員の適正配置を考えることでの事務の簡素化、請求業務や経理業務の本部一括集中を視野に入れたプロジェクトを立ち上げ、検討を重ねた結果、2023年度より総務課にて経理業務の一括集中処理を開始、それに伴い事務職員人件費を2023年度より管理費にて処理することによる事務経費の明確化をいたしました。

地域福祉課においては、両地域包括支援センター、ステップ相談支援センターベルフラワー共、地域の視点に合わせた活動を行うと共に、相談援助活動等の支援を各関係機

関と連携して行いました。御殿山地域包括支援センターは、職員の入れ替わりが多く、新入職員への引継ぎや教育に追われた 1 年となりましたが、両地域包括支援センター共、事業量は安定しております。一方、ステップ相談支援センターベルフラワーにおいては、事業量は対前年比 108.1%と増加しましたが、人件費用が増えており、年度途中で人員配置を見直した結果、収支差についても今年度は、約△540 万円となりましたが、第 4 四半期より収支差において、少しずつ好転してきております。育児ファミリーサポート事業、介護ファミリーサポート事業は、両者が一体となって、講習会や周知活動に努めた結果、2022 年度は会員数も増え、活動件数が増となりました。事業所統合より、新型コロナウイルス感染拡大の影響を最も多く受けた形となっておりますが、統合 3 年目となり、一体的運営がようやく軌道にのってまいりました。

居宅サービス課においては、ごてんやま・こはまの 2 事業所体制による運営が定着し、事業量もステップごてんやまケアプランステーションが前年度比 105.4%、ステップこはまケアプランステーションが前年度比 108.8%と好調を維持しております。また認定調査ステーションにおいても時給制への変更による業務効率があがり、調査票提出件数は前年度を上回りました。

(2) 事業部門

訪問サービス課では、新型コロナウイルス感染症による感染予防対策を講じながら感染した利用者への訪問も行い在宅療養での一役を担いました。訪問看護ステーションは前年度比ほぼ横ばいの安定した運営状況が確認できております。ヘルパーステーションと 24h ケアステーションでは職員のすみわけにて事業運営の見える化により、事業経営の課題分析が明確にできるようになりました。ヘルパーステーションにおいては、2021 年度は 24h ケアステーションの訪問が多く、2022 年度には確実な職員すみわけの移行期間として、訪問コントロールに時間を要したことや 10 月からの社会保険加入制度が変わり加入者が増え支出が大幅増となっていることが前年度比▲585 万円の収支となっている要因です。今年度は移行期間を終え課題分析しながら事業運営に取り組んでまいります。

入所サービス課では 2022 年 1 月末から 3 月まで施設での新型コロナウイルス感染症のクラスターの経験から感染予防対策を強化し、利用者や家族に安心してサービスを提供できるよう努めてまいりました。その成果にて事業量も前年度比 115.3%、事業収入も 117.5%の大幅増となっております。超強化型老健施設としての加算も年間通じて算定できており収入面の軸として大きく影響しております。また、空調工事に伴う行動制限や環境制限等がありましたが、稼働率向上・業務の効率化・サービスの安定化に積極的に取り組みながら工事も無事終了し、施設における空調面の環境も整備できました。

リハビリテーション課では訪問リハビリテーションは小さな事業ながら安定した事業運営ができております。通所リハビリテーションにおきましては 2021 年度の大規模修繕やコロナ禍で事業量調整後よりなかなか回復せず、収支において前年度比▲700 万円程の大幅減となりました。制度改正により施設医も加わっての会議の開催や計画書にまつわる書類の増大なども大きく影響しておりますが一つ一つ業務効率を図りながら稼働率向上に努めてまいります。

通所サービス課においては、相談員の役割の明確化や積極的な営業活動により事業量も前年度比 103.9%の増、収支差も 285 万円の増となりました。リハビリクラブとの統合も効果があり、利用者においては短時間と長時間も同じ事業所で混合で利用される方

もおられたり、短時間から長時間に移行される方も抵抗なくスムーズに利用していただくことができいております。また LSA 事業とも生活援助員が訪問で不在時にもデイ職員が電話対応するなど協力体制ができております。

池ノ島デイサービスセンターおよびステップハウス宝塚北棟、南棟も開設から 27 年 28 年目を迎え水回り等の設備において経年劣化による不良箇所も次々とみられハード面における修繕課題もありますが、さらなる環境整備にも取り組み事業の安定に努めてまいります。

2. 理事会・評議員会に関する事項

(1) 理事会

区 分	日 時 ・ 場 所 ・ 付 議 事 項	結 果
第1回	2022年6月7日(火)	
	於：介護老人保健施設ステップハウス宝塚 北棟2階レクリエーションルーム	
	議案第1号 2021年度事業報告の承認について	承認
	議案第2号 2021年度決算報告の承認について	承認
	議案第3号 公益目的支出計画実施報告書の承認について	承認
	議案第4号 第4期経営計画について	承認
	議案第5号 2022年度第1回定時評議員会の開催について	承認
報告第1号 2021年度発生事故について	報告	
第2回	2022年12月6日(火)	
	於：介護老人保健施設ステップハウス宝塚 北棟2階レクリエーションルーム	
	議案第1号 2022年度上半期経営状況について	承認
	報告第1号 一般財団法人宝塚市保健福祉サービス公社、就業規則・規程改正（育児介護休業・定年制引き上げ）について	報告
	報告第2号 2022年度上半期の発生事故について	報告
第3回	2023年3月9日(木)	
	於：介護老人保健施設ステップハウス宝塚 北棟2階レクリエーションルーム	
	議案第1号 2023年度事業計画について	承認
	議案第2号 2023年度収支予算について	承認
	報告第1号 一般財団法人宝塚市保健福祉サービス公社、組織改正について	報告
	報告第2号 一般財団法人宝塚市保健福祉サービス公社、就業規則改正について	報告

(2) 評議員会

区 分	日 時 ・ 場 所 ・ 付 議 事 項	結 果	
第1回 定 時	2022年6月24日(金)		
	於：介護老人保健施設ステップハウス宝塚 北棟2階レクリエーションルーム		
	議案第1号	2021年度決算報告の承認について	承 認
	報告第1号	2021年度事業報告について	報 告
	報告第2号	公益目的支出計画実施報告書の提出について	報 告
	報告第3号	第4期経営計画について	報 告
	報告第4号	2021年度発生事故について	報 告

3. 組織及び職員に関する事項

(1) 役員

2023年3月31日現在

(理事・監事)

(評議員)

	役員の種類	名 前	備 考
1	理 事 長	妙 中 信 之	ステップハウス 宝塚施設長
2	副 理 事 長 常 務 理 事	岸 本 和 夫	公社副理事長 常務理事
3	理 事	今 中 秀 光	宝塚市立病院 病院長
4	理 事	小 田 中 理	宝塚市 歯科医師会 理事
5	理 事	浦 野 のり子	宝塚市 第四地区 民児協会長
6	理 事	島 田 康 治	宝塚障害福祉 市民懇談会会長
7	理 事	廣 瀬 哲 司	宝塚市医師会 理事
8	理 事	福 本 芳 博	宝塚市社会福祉 協議会理事長
9	理 事	神 川 智 子	宝塚市薬剤師会 理事
10	理 事	米 田 直 人	公社 管理部長
11	理 事	平 岡 浩 子	公社 施設サービス部 長
12	監 事	柴 崎 崇	宝塚法律事務所 弁護士
13	監 事	平 井 利 文	宝塚市 会計管理者

	名 前	備 考
1	一 圓 光 彌	関西大学 政策創造学部 名誉教授
2	今 西 則 行	宝塚さざんか福祉会 常務理事
3	藤 本 宜 則	宝塚市 健康福祉部長
4	吉 村 雅 子	宝塚市自治会 連合会理事
5	○ 竹 谷 輝 男	元宝塚市 社会教育委員
6	○ 村 山 眞 子	宝塚市 老人クラブ連合会 会長
7	松 藤 聖 一	こむの事業所 代表理事
8	平 川 昌 弘	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 宝塚せいれいの里総園長 兼宝塚すみれ栄光園園長
9	和 田 縉 市 朗	宝塚さくら福祉会 理事長

○ 苦情解決第三者委員

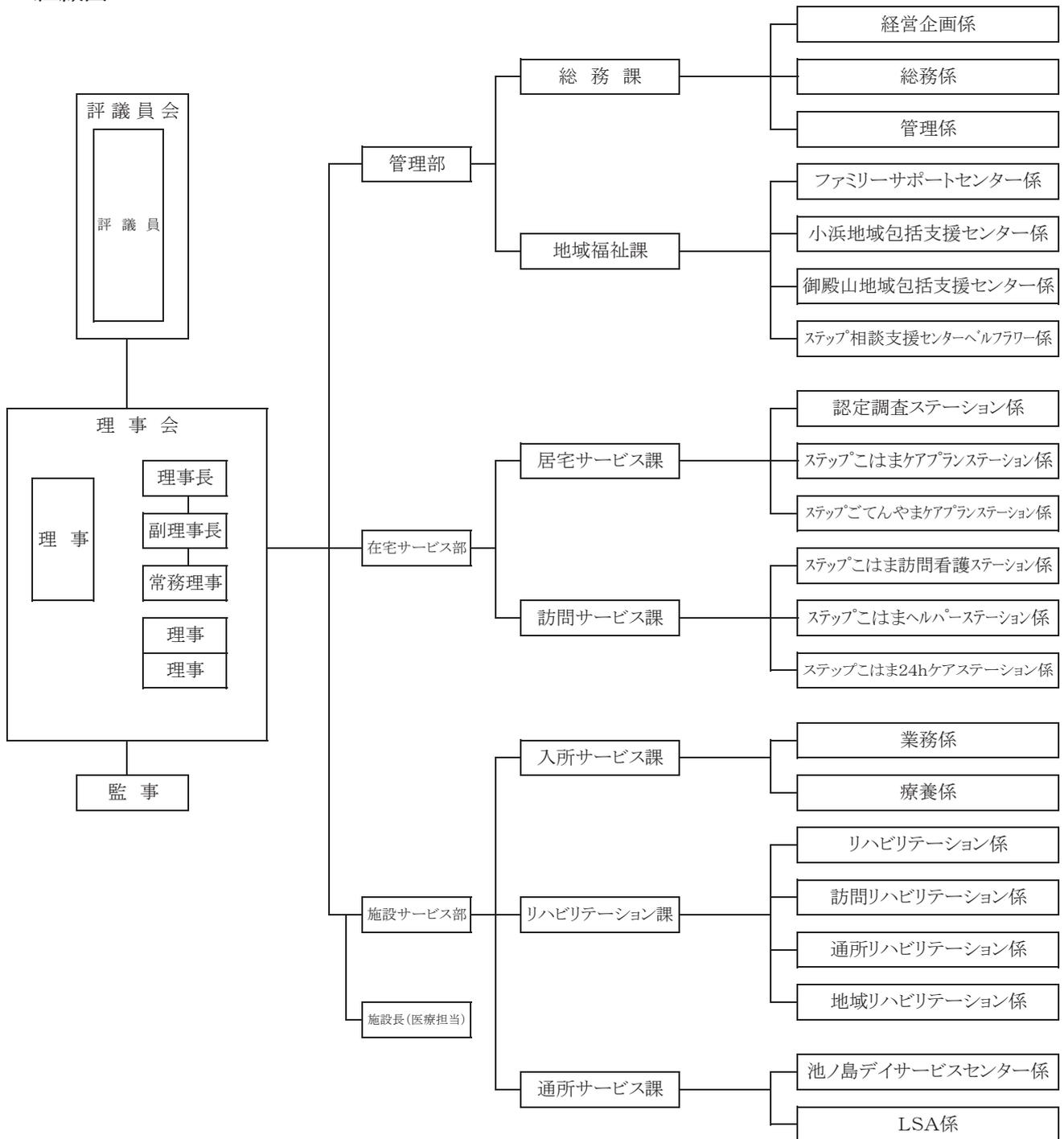
(2) 職員

2023年3月31日現在

(単位:人)

	理事長 (施設長 兼職)	副理事長 (常務 理事兼 職)	部長	課長	副課長	係長	主任	再雇用	正規職員	臨時職員	合計	構成比
事務職		1	2	7		3	2	1	8	10	34	14.0%
医師	1										1	0.4%
看護師						2	3	2	13	15	35	14.5%
薬剤師										3	3	1.2%
理学療法士						1			5	2	8	3.3%
作業療法士						1	1		5	1	8	3.3%
言語聴覚士										1	1	0.4%
介護職						8	2	1	25	50	86	35.6%
介護支援専門員						1	2	3	3	24	33	13.6%
相談員							1		11		12	5.0%
認定調査員										2	2	0.8%
管理栄養士						1					1	0.4%
運動指導員										3	3	1.2%
設備									1	2	3	1.2%
清掃										6	6	2.5%
運転手										6	6	2.5%
合計	1	1	2	7	0	17	11	7	71	125	242	
構成比	0.4%	0.4%	0.8%	2.9%	0.0%	7.0%	4.5%	2.9%	29.3%	51.8%		

組織図 2023.3.31



4. 事業の実施に関する事項

(1) 在宅の高齢者等に対する保健福祉サービスに関する調査研究等

- ア 保健福祉サービスに対するニーズの把握及び関係機関との調整を行った。
- ・宝塚市介護保険事業者協会 各部会・定例会、研修会等への参加、宝塚市主任介護支援専門員連絡協議会への参画
 - ・宝塚在宅医療交流会、宝塚緩和医療連絡協議会への参加
 - ・宝塚市地域において活動する介護保険、医療保険関係者の協会に加入する等随時、保健福祉関係団体との連絡調整を実施
 - ・地域包括ケアシステム研究会 ～3つの若葉を育てる会～ 共催者会への参加
 - ・令和4年度在宅療養支援推進会議（難病対策協議会）への参加

イ 職員全体研修

2022年度はコロナ禍のため職員全体研修は実施せず

(2) 在宅の高齢者等に対する保健福祉サービスに関する知識の普及啓発

ア 広報「たからづか」への掲載

- ・育児ファミリーサポートセンター
 - 4月号 ファミリーサポートセンター会員募集
 - 5月号 子育てしたい人の基礎講習会
 - 10月号 ファミリーサポートセンター・介護ファミリーサポートセンターの会員を募集します
子育てしたい人の基礎講習会
- ・介護ファミリーサポートセンター
 - 7月号 介護ファミリーサポートセンターの会員を募集
 - 10月号 ファミリーサポートセンター・介護ファミリーサポートセンターの会員を募集します
- ・介護職員初任者研修過程（旧ホームヘルパー2級養成研修）
 - 4月号・11月号 介護職員初任者研修受講生募集
- ・訪問型サービスA事業従事者養成研修
 - 7月号・10月号・1月号 生活支援ヘルパー養成研修の受講者を募集

イ 公社広報誌

・「えがお」No. 55の発行 2022年10月
特集「こんなときどうしたらいいの」

・「えがお」No. 56の発行 2023年3月
特集「公社ってこんなことしてます」

ウ 講習会・交流会の開催

・ファミリーサポートセンター事業関連の講習会等（別添資料18P）
・介護ファミリーサポートセンター事業関連の講習会等（別添資料20P）

(3) 介護技術等研修事業

ア 地域に出かけるヒューマンケア講座（認知症サポーター養成講座を含む）

・御殿山地域包括支援センターの介護・健康教室（別添資料10P）

・小浜地域包括支援センターの介護・健康教室（別添資料12P）

イ 介護職員初任者研修（旧ホームヘルパー2級養成研修）

・17期 2022年 5月9日（月）～ 6月16日（木）
受講生5名

・18期 2022年11月14日（月）～ 12月14日（水）
受講生4名

ウ 訪問型サービスA事業従事者養成研修

・2022年 10月開講 受講生3名
・2023年 1月開講 受講生7名

(4) 苦情解決第三者委員会

2022年6月24日（金） 参加者： 竹谷 輝男 委員
岸本常務理事（苦情解決責任者）
米田管理部長、
平岡施設サービス部長
森脇総務課長

(5) 介護老人保健施設事業（ステップハウス宝塚）

2022年度の年間ベッド稼働率は平均92.4%と前年度80.1%と比べて大きく向上いたしました。延べ長期入所者27,484人、延べショートステイ利用者841人、超強化型老健要件も満たし通年算定することが出来ました。

職員の資質向上を目的として、各種外部研修へ精力的に参加し、看護介護職種の中から新たにリスクマネージャー2名、実習指導者1名、調査員研修修了者2名を養成いたしました。また、内部研修は変則勤務の中でも全員が参加できるように24時間動画視聴ができる研修システムにより、研修委員会が中心となり年間計画を立て2ヶ月毎に研修テーマを指定し各自視聴後研修報告書の提出を義務付けました。加えて身体拘束・虐待防止にも力を入れ、グループワーク研修で職員への気付きの視点を促す取り組みを行いました。

新型コロナウイルス感染症への感染予防対策として、感染対策委員会が主となり、実務の中で全ての職員が同等の感染対策を実践できるように、「初動対応マニュアル」「フローチャート」「PPE着脱動画」等を作成し、「個別確認テスト」で理解度の確認を行い、職員の感染対策能力向上に努めました。感染対策を継続しながらも、利用者様とご家族様の交流を大切に考え、ガラス越し面会やタブレット面会、状況によっては対面での面会が出来るように配慮し取り組みました。また、季節行事も積極的に立案し実施いたしました。

業務改善の視点では、電子カルテに連動した音声入力ソフト「ハナスト」を導入し、記録入力時間の短縮とインカムを使用して職員間の連絡がスムーズに行えるように取り組みました。

深刻な人材不足に対しては総務課の協力のもと改善方向には徐々に向かっておりますが、改善した状況が継続するよう指導教育体制の確立、チームケアの確立などを図り、質の高いサービス提供とベッド稼働率向上を目指して業務に取り組んで参ります。

(6) 通所リハビリテーション事業

2022年度は、リハビリマネジメント加算、口腔機能向上加算、入浴介助加算Ⅱの算定をより強化してまいりました。また、昨年度に引き続き、利用者の活動・参加を促す取り組みを継続して行いました。

通所リハビリでは、コロナ禍で集団でのレクリエーションに替え、個別のレクリエーションを取り入れるスタイルが定着し、利用者の個性に応じて、利用者のお好きな書物の選択と読書、将棋などを通じてご利用者同士のコミュニティ作り、施設の畑でのお芋の収穫から調理・試食など、利用者自らが何かに参加できる場面を提供し、心身の活動性を高める取り組みを行いました。また、そのご様子は連絡帳内の写真に反映するほか、定期的にホームページにもアップし、「見える化」を心がけました。

2022 年度末には、実地指導を受け、L I F E データ送信とリハビリマネジメント取得についてのご助言もいただき、2024 年度の改正に向け、帳票類の精度を高める機会が得られました。

2022 年度は 1 日平均 23.5 人という利用人数の目標に対し、20.9 人という結果でした。しかしながら、中重度者の割合は増加がみられ、現状では約半分の利用者が要介護 3 以上となっております。そのような中ではありますが、入浴の面でも、ご利用者様お一人お一人に合わせた入浴介助計画を立て、できるだけご自身で可能な部分は行っていただきながら、入浴していただいております。しかしながら、ハード面では、主として通所リハビリの入浴で使用する 4 階の入浴設備の経年劣化による老朽化と、利用者の重度化に見合った設備への更新が喫緊の課題です。これらはスタッフの負担軽減と、離職防止にもつながると考えられます。

(7) 訪問リハビリテーション事業

2022 年度は、スタッフの体調不良による休暇などもありましたが、部分的な応援体制や依頼件数も多かったこともあり、結果的には目標数値を達成することができました。リハビリ会議では、可能な範囲で ZOOM を用いたオンラインでの会議により、利用者を取りまく他事業所・多職種とも連携を強めた関りができました。

リハビリマネジメントにおきましては、8 割以上は上位の加算の取得が可能でした。

2022 年度末には、実地指導の機会があり、PDCA サイクルを意識したリハビリ計画書の作成への取り組みを強化していく意識をもつことができました。

(8) 通所介護事業（池ノ島デイサービスセンター）

池ノ島デイサービスセンターは大規模のデイサービスセンターとして事業運営を行っております。新型コロナウイルス感染症の感染予防から、体調管理の徹底および密を避けながらのサービス提供を行なっておりましたが、6 月には事業所内でのコロナ罹患者もみられ一時営業自粛する日もありました。

入浴介助加算Ⅱ、中重度の利用者が増え加算も算定継続しています。

2022 年度の実績は、半日(リハビリクラブ)コースは週 5 日営業で 1 日平均利用者数がリハビリクラブコース目標の 16.5 人を 6 か月間上回りましたが、その他の月においては積雪や長期入院等の影響により利用者数が伸び悩みました。また、1 日コースは週 6 日営業で営業活動にも力を入れ、5 月には利用者平均 30.4 人まで向上し、目標の 29.5 人には到達しました。

また、介護職員のすみわけをなくし、一体的に一日・半日デイを運営することによりお互いのフォロー体制に業務の見直しを行ないました。

設備面におきましては、開設から26年目を迎え建物の経年劣化も重なり修繕費用が多くかかることとなりました。

まだまだ、感染症による影響は多くあるものの要介護者の在宅生活が安心安全に過ごせるよう職員の育成や指導も実施し、利用者の満足度を高め、地域で選ばれる事業所作りに取り組んでまいります。

(9) 訪問看護事業(ステップこはま訪問看護ステーション)

今年度は、「ターミナルケア」「予測的ケア」の実践を目標に掲げ取り組んできました。新規依頼は、在宅看取り希望の依頼、急性増悪のため連日の点滴など急を要する依頼にもスピーディーに対応しました。在宅看取り(ターミナルケア加算の算定)は、訪問看護では11名/年、定期巡回一体型では2名/年と過去最多となりました。加えて、地域への貢献として、保健所や医療機関と連携し、引き続き宝塚市内の第7・8波の新型コロナ在宅療養感染者の新規訪問依頼にも対応しました。結果、医療保険の割合が30%を超える月もあり、収支の安定化につながっています。

「予測的ケア」は、質の向上への取り組みです。毎年実施している「利用者満足度調査」では、昨年より「予測的ケア」に関わるポイントは1-2%と微増ですが、取り組みの効果は見られました。調査では「専門職との連携」の項目で、マイナスも見られました。コロナ禍で制限された面会や会議の影響で、サービス間での連携も不足してきていたと考えます。

人員体制は、今年も1名増員を予定し、年明け1名採用していますが、翌年の退職者も控えています。今年度も事業規模の拡大とはなっておらず、次年度は、労働人口の減少を考慮し人材育成と定着に力を入れていきます。土日や祝日の訪問や緊急対応は増えましたが、常勤・非常勤ともに、協力し当番制で土日の出勤を補いました。医療保険の割合の上昇に伴い、土日祝全体の訪問に占める割合は6-7%、緊急訪問は今年度149件/年と昨年より16%増加し、今後職員の休息の確保できる体制の課題もあります。

(10) 訪問介護事業(ステップこはまヘルパーステーション)

今年度は定期巡回サービスとの職員住み分けが完了した事で、職員のシフト及び利用者のスケジュール作成が容易になりました。空き状況の把握がし易くなった事で、新規依頼に対して迅速に対応できました。

当事業所は、内外居宅からケアを安心して任せられる事業所として信頼していただいております。新規相談も途切れなくあります。また、定期巡回から訪問介護への移行や、訪問看護と連携の取り易さも、他事業所にはない強みとなっています。その信頼に応えるべく、看取りや毎日・複数回訪問の利用者も積極的に受け入れました。

職員住み分け、退職、異動等で職員数は7名減りましたが、職員の労働条件を見直す

事で、常勤換算数は前年比 5%増え稼働率も上がりました。また、職員の個別研修等スキルアップも行い、身体介護の訪問件数も前年比 10%増となっています。重度要介護者の割合が利用者全体の 30%近くを維持できており特定事業所加算 I を継続取得しています。このように年間を通じて積極的に訪問を行うことで前年比約 6%の収益増となりました。

長らく行えていなかった利用者満足度アンケートを実施、利用者との信頼関係が築けている事が回答内容から伺えました。一方、人によって満足度が違うとの指摘もあり、職員にフィードバックを行ない、行動を見直す良い機会になりました。

来年度も、黒字を意識しながら収益増に取り組み、職員の技術向上にも力を入れ安心して任せてもらえる事業所を目指します。

(11) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業(ステップこはま 24h ケアステーション)

平均利用者数は 19 名、介護度では全国平均 3.2 ですが、当事業所では 4~4.2 です。重介護の方でも看護師を含む医療職との密な連携をとることで、利用者の望む、長く安定した在宅生活を送ることができている結果と考えます。医療ニーズの高い看取り期の利用者の受け入れや、不定愁訴の訴えでの頻コール対応にも追われることがありましたが、その都度医療職とも連携して対応できています。

コロナの感染拡大の影響でスタッフや利用者の罹患もありましたが、クラスターになることもなく、感染対策も行いながら訪問も継続できました。

『ひょうご地域共生型モデル事業』終了後もボランティア導入は継続としていましたが、ボランティアスタッフが定期巡回ヘルパーとなったことから、ボランティア導入は休止している状況です。

季節イベントは利用者から好評であり、利用者の笑顔や感謝の言葉がスタッフのやりがいにもつながっています。

今年度は新人育成のための介護技術、オペレーターマニュアル整備も完了したことで、新人育成もスムーズにでき、オペレーターや訪問ヘルパーの独り立ちも早くできました。一人一人のヘルパーの質が高いこともあり、ケアマネジャーからは「こはまでお願いしたい」との依頼も多く、新規受入を月に 1-3 件行うことで安定した収益にもつながっています。

訪問介護とのすみわけを完全に行い、収入は前年度比 107.6%と限られたスタッフで維持できました。訪問看護は兼務継続としていますが、比較的用户者の体調安定が図れたこともあり、1 月あたりの訪問件数は減少、次年度の看護師人件費按分も 8%で調整しています。

(12) ごてんやま居宅介護支援事業

2022年度のスローガンとして、ごてんやまでは『利用者・家族に寄り添う思いやりの気持ちや言葉を大切に使いながらチームワークを構築し、地域や事業所から選ばれる居宅を目指す』を掲げて業務に取り組みました。その中で最も大切にすることは、ご利用者、ご家族ファーストの視点です。対象者が地域でその人らしく過ごせるよう、相談援助の専門職として技術の向上を目指し、定期的に係内勉強会を開催しました。勉強会ではすべての職員に主体的な学びの姿勢が見られ、非常に有意義な時間となりました。また、業務改善を図るため、些細なことでも業務の中で気付いたことはヒヤリハットを作成し業務改善につなげていくと同時に、ヒヤリハット、事故報告書の分析を年間通じて行い再発防止に取り組みました。そのような中でもコスト意識の視点は忘れることなく、同敷地内に開設されている御殿山地域包括支援センターを始め医療機関とも連携しながら新規利用者の獲得に努め、年間を通じて安定した事業所運営を行うことができたと感じております。

次年度も職員の幅広いスキルアップを目指すとともに、ご利用者やご家族・他機関・地域から信頼され、選ばれる事業所を目指してまいります。

(13) こはま居宅介護支援事業

2022年度のスローガンとして『ひとり一人のマンパワーが活かせる職場づくりやお互いに相談できる雰囲気づくりにつとめるチームづくり』を掲げて業務に取り組みました。また『専門職としてのスキルアップ』としてミーティングを活用した社内研修や事例を通じての勉強会などを実施しました。『コスト意識の向上』として、率先した新規相談への対応や、スケジュール管理から業務の効率化に取り組みました。『快適な職場環境づくり』として、在宅勤務の活用やコロナ感染対策等を中心とした対応を行いました。『事故の防止の視点』としてヒヤリハットや事故報告書の作成と分析の実施を年間通じて行いました。

これらのスローガンや目標を目指した結果、収支面や人材面等で安定した状況を継続することができました。次年度も職員体制や専門的なスキルアップを維持しながら、収支バランスの取れた財政の安定化に取り組みます。今後も市内で中心的な居宅介護支援事業所として、他機関・利用者や家族・地域から、信頼される事業所を目指してまいります。

(14) 御殿山地域包括支援センター事業

御殿山地域包括支援センターは、市からの受託事業として第3地区の高齢者の総合相談窓口、また、地域包括ケア推進の中心的役割を担う機関として設置され

ています。

令和4年度も、多様な相談に対し、本人主体を重視しながら、家族、民生委員、自治会、ボランティアなどの地域住民や地域住民組織、商業施設、介護保険サービス事業所、社会福祉協議会等の関係機関、行政機関と連携して支援を行いました。

認知症サポーター、住民キャラバンメイトと専門職の有志によるグループ（宝塚認知症オレンジロバネットワーク）に参画し、活動紹介と認知症の普及啓発、認知症サポーター養成講座を開催しました。宝塚チャレンジファーム（当事者と共に畑で作物を作る）は、当事者の活動の場所、居場所、当事者の思いを聞く場として定着しつつあります。当事者とパートナーともに、人数は増えず、後継者を含み、今後の検討課題として挙げられます。「認知症にやさしい図書館」の取り組み（中央図書館）に参画し、今年度は市民向け認知症サポーター養成講座、レベルアップ講座を企画開催しました。今年度初めて、保育園や小学校でのキッズ向けの養成講座、その他デイサービスやまちづくり協議会、地域のサロンでの養成講座を行いました。認知症地域支援推進員として市のチームオレンジに所属し、認知症サポーター養成講座を市民のキャラバンメイトが行えるよう、共通教材の作成をはじめ、様々な取り組みをしました。次年度も、認知症との共生社会に向けて少しずつ進んでいきたいと考えます。

3. 4. 7 地区合同でのケアマネジャーの交流会において、地域ケア会議や勉強会等を通じ、居宅のケアマネジャー、包括職員における関係づくりの場を設けました。包括と地域の居宅のケアマネジャーと共催で勉強会を企画し、実施しました。

専門職等におけるネットワークづくりの一環として、様々な機関が参加する地域生活支援会議を開催しました。日常生活圏域での横断的連携や、協働を進めていく場となり、地域社会における複合的な問題を抱えた世帯の支援を行うためには、このような分野を超えた専門職の連携の強化がますます必要になると考えられます。次年度は、より幅広い参加者を募り、更なるネットワークを構築していきたいと考えます。

地域活動支援においては、いきいき百歳体操やサロンへ積極的に出向き、後方支援、講座等を行いました。地区民生児童委員協議会との勉強会では、地域での見守りの意義を伝え、当センターとの連携を改めて呼びかけました。

また地域住民が集うサロンや婦人会で出張講座を開催し、権利擁護の視点から成年後見制度や高齢者虐待防止の取り組みを紹介するとともに消費者被害や特殊詐欺等への注意喚起を行い、高齢者が安心して暮らせる仕組みについて発信しました。

次年度もサロンや地域活動への出張講座などをおして地域住民への啓発活動

を継続し、加えて介護事業者等の専門職への発信も積極的に行っていきたいと考えます。

(15) 小浜地域包括支援センター事業

小浜地域包括支援センターは、市からの受託事業として第4地区の高齢者の総合相談窓口として、また、地域包括ケア推進の中心的役割を担う機関として設置されています。

令和4年度は、「With コロナ」と地域活動や高齢者の暮らしも転換期を迎え、地域の民生委員・児童委員との情報交換会の実施やまちづくり協議会、自治会などの地域住民や組織、介護保険サービス事業所、社会福祉協議会等の関係機関、行政機関と連携して相談援助活動等の支援を継続しました。

地域活動では、「いきいき百歳体操」の新規立ち上げグループの広報支援や、代表・世話人へのフォローを通じ、困りごとや支援が必要な事を把握。行政と情報共有を密にし、支援を継続しました。また、サロンでは、健康情報や地域包括の活動情報を発信し、包括の周知活動へと繋げています。

認知症関連としては、若年性認知症にまつわる相談も増え、障碍関連の行政・相談機関との連携が増え、今後ますます他職種連携が必要となる事が予想されます。認知症の進行や発症に関する相談等、地域住民や担当ケアマネジャーとの連携を通じ、本人が、地域で生活する事や公的制度の利用など、本人中心を心がけ、話し合いを重ねることも多くありました。また、認知症地域支援推進として、市のチームオレンジに所属し、認知症にまつわる啓発活動、多職種連携など、協議を重ね活動しました。

3・4・7地区の薬局と地域ケア会議をZoomで開催し、在宅での認知症にまつわる薬のケア、治療との連携等、気にある高齢者の方の相談等、薬剤師との連携も増えつつあります。また、3・4・7地区のケアマネジャーの定期交流会を継続し、ケアマネジャーのスキルアップとネットワーク構築・支援体制づくりを継続しています。障碍との連携を軸に勉強会など企画・開催も行いました。自立支援型地域ケア会議の中でも、事例提供のケアマネジャーの方々の後方支援として、アセスメントや振り返り、課題など共に考えています。

権利擁護（虐待、消費者被害、成年後見制度）の分野では、社会福祉士は、主任ケアマネジャー・行政と共に、3・4・7地区内のケアマネジャーに対し、虐待・権利擁護の勉強会を企画・実施しました。専門職・他機関との連携を深めました。機関誌『ばらそる』は、包括PR・高齢者支援にまつわる情報発信と位置づけ、地域住民や自治会、老人会、商業施設、行政・関係機関、医療機関、調剤薬局などに向け、「成年後見制度」「コロナ禍でのいきいき百歳体操」「高齢者虐待」「フットケ

ア・靴の選び方」をテーマに年4回発行しました。

包括の業務には、他機関・多職種連携がより強化され、4地区地域生活支援者会議にも企画から参画し、多世代・家族支援等、複合的な課題を抱えたケースにも柔軟に対応できるよう地域の専門職間のつながりを念頭に活動します。

(16) 障害者指定・特定相談支援事業（ステップ相談支援センター ベルフラワー）

特定相談支援事業所 ステップ相談支援センター ベルフラワーでは、本人中心支援を基に利用者の意思決定を尊重し、総合的かつ継続的なサービスの供給を確保しながら計画案を作成し幅広いニーズの把握に取り組んでいます。

令和5年1月から業務内容の効率性、適切な事務作業の見直しに取り組み、新規受付を開始する体制が整いました。児童分野から新規受付を再開し、「断らない相談支援」を目標に取り組んでいきます。相談員のスキルアップについては、専門職向けの研修に積極的に参加し、医療的ケア・難病・強度行動障害・多問題ケース等の対応が適切にできるように、基幹相談支援センター・各地区の委託相談支援事業所と連携しながら取り組んでいきます。

宝塚市委託相談支援事業所 ステップ相談支援センター ベルフラワーでは、宝塚市から委託を受け、第三地区の障害総合相談の窓口として、相談、緊急時の受け入れ（虐待・権利擁護）、体験の機会・場（地域移行・地域定着）、専門的人員の確保（研修の企画・運営）、地域の体制づくり（多職種連携の強化）、その他（検討・評価・助言）の業務を担っています。

地域住民への周知活動として、コロナ禍でしたが宝塚小学校まちづくり協議会福祉部と、第三地区民生委員定例会で「障壁って？」とのテーマで研修会を開催する事ができました。抽出した地域課題を地域住民と一緒に考え、次年度に向けての地域活動に取り組んでいきます。

自立支援協議会では、研修担当として基幹相談支援センターと連携し、運営企画を担っています。令和5年2月に外部講師を招き相談支援事業所の専門職向け研修を開催する事ができました。令和4年度から、くらしけんり部会・地域移行グループ（令和5年度からけんり部会に編成）の派遣委員として、部会をはじめ定例会、全大会にも参加しました。毎月行われる事務局会議に参加し宝塚市が掲げる地域拠点の整備、障害重点施策の実行など検討する事ができました。

地域活動としては、社会福祉協議会と連携し地区センターで、身体障害者の当事者の方と「御殿山カフェ」を毎月開催する事ができました。

次年度に向けて、委託相談支援事業所・特定相談支援事業所としての役割を明確化し各相談支援事業所の機能を果たせるように取り組んでいきます。

(17) シルバーハウジング生活援助員派遣事業

当事業は、宝塚市からの受託事業で、緊急通報システム付きのシルバーハウジングを生活援助員が毎日巡回訪問し安否確認を行っています。

訪問時には、体調や生活相談等を受け、必要時に地域包括支援センター・担当ケアマネジャーとの連携を随時行い在宅生活支援に努めています。

地域交流会においては、下記の予定で体操の会、LSA主催のレクリエーションをこれまで積極的に行ってきましたが、今年度は、新型コロナウイルス感染症にて、密にならないよう参加人数等考慮した内容で、年間11回実施しました。

地域交流会

*池ノ島第2住宅・泉町住宅他 「ゆのゆの水曜会」

第1・3水曜日体操（運動指導員）

第2・4水曜日レクリエーション（LSA）

(18) ファミリーサポートセンター（育児）事業

ファミリーサポートセンター（育児）事業は、宝塚市からの受託事業で、乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の労働者や主婦等を会員として、児童の預かりの援助を受けたい者と当該援助を行いたい者との相互援助活動に関する連絡、調整等を行うことにより、地域における育児の相互援助活動を推進するとともに、ひとり親家庭等の支援など多様なニーズへの対応を図ることを目的としています。

昨年度までは新型コロナウイルス感染症の影響で活動数の減少が目立っていましたが、今年度は自粛期間の孤独な子育て環境や、夫婦共に就労する家庭が増えたことにより、地域との繋がりを求める方が増加し、それに伴い活動件数もコロナウイルス流行以前よりも増加いたしました。

また、介護ファミリーサポートセンターとの連携をさらに強化し、会員獲得促進を図り年間通して目標を達成しております。

その他、関係機関との関係構築をねらいとして、3・4・6地区の地域生活支援会議に参加し福祉専門職の方と交流や、民間の子育て支援団体、社会福祉協議会との交流を行い、事業の周知を進めてまいりました。また、会員新規の獲得のために、チラシやパンフレットを市内167か所へ設置しました。

(19) 介護ファミリーサポートセンター事業

宝塚市介護ファミリーサポートセンター事業は、宝塚市からの受託事業であり、高齢者等に対する簡易で、補助的な援助を行う会員同士の相互援助活動です。

援助内容は、高齢者等が日常生活を送る上で、なんらかの手助けがあれば地域で自立して生活できる際の援助、病気怪我などの際の援助、その他センターで認める範囲内で必要な援助を行います。利用料金(報酬)は下表を基準とした有償ボランティアであり、交通費については、実費、その他かかった費用についても依頼会員が支払います。

施設内でのサポート活動が行えないなど、コロナウイルス感染症の影響がまだ色濃く残っている現状です。サポート内容は、掃除、食事の準備とあと片付け、通院同行、見守り・話し相手の順で活動件数が多くあります。依頼者の要件は、概ね 65 歳以上の市民としていますが、疾患により介護保険を利用されている 65 歳以下の方のサポートも行いました。

講習会を再開し、提供会員の資質向上を図ると共に、提供会員同士の交流を目的とした座談会を開催しました。その他、関係機関との関係構築をねらいとして、3・4・6 地区の地域生活支援会議に参加し福祉専門職の方と交流をしています。また、提供会員新規の獲得のために、チラシやパンフレットを刷新し市内 167 か所へ設置しました。

(20) 言語訓練事業(話学会)

当事業は、宝塚市の事業として平成15年より公社で受託しておりました。宝塚市医師会の協力のもと、医師の派遣、宝塚リハビリテーション病院からは毎月言語聴覚士の派遣をいただきました。言語聴覚士が主体となり集団での言語療法を行っており、会場責任者として公社からは療法士が同席しておりました。

しかしながら、ここ数年、登録者数・参加者数も減少し、2022年度は最終登録者数は2名となり、実質の参加者は1名となりました。コロナ禍では試行錯誤しながら、月1回の教室を継続しておりましたが、2022年度末にて事業終了となりました。

事業開始当初と比較し、現在は通所や訪問での言語療法も可能となっております。最終参加者様は、作業所を利用されるなど、他の社会資源をお持ちのようでしたので、利用者様からの反対のご意見もなく、予定どおり終了となりました。

(21) 介護予防普及啓発事業(いきいき百歳体操)

当事業は、高知県高知市発祥の介護予防運動「いきいき百歳体操」を地域住民が主体となって取り組んでいただく宝塚市主催の事業です。宝塚市の依頼を受け、運動の指導と管理の為、公社より療法士と看護師を派遣しています。

2022年度は、感染対策は継続しながら、事業を実施いたしました。療法士は2022年度より出務数が増加し、合計 170 回、看護師は 118 回の出務でした。

今後も事業が円滑に進むように各機関と連携していく所存です。

(22) ステップはつらつ体操教室

当事業は、はつらつ高齢者の会の事業の受け皿(高齢者のための体操教室)として介護予防を目的に、運動指導員と療法士や看護師が関わり、運営しております。継続して通っていただくことで、利用者同士でコミュニケーションをとれる集いの場となり、介護予防・認知症予防の場となっております。

2022年度は、感染対策を継続しながら、教室を中止することなく運営することができました。

会館のひとつである、総合福祉センターの空調工事に伴い、昨年度末から2023年度途中まで中央公民館へ会場変更しております。ご本人はもとより、例えば娘さん、息子さんが親御さんの介護予防目的に教室を申し込まれるケースも見受けられました。

今後も宝塚市の介護予防の一翼を担う教室として運営していく所存です。

(23) 認定調査ステーション

介護保険認定調査事業は、福祉公社の公益目的事業に位置付けられています。宝塚市から唯一「事務受託法人」として委託を受け、要介護認定を受けようとする市内全域の新規申請者及び担当地域の更新・区分変更の申請者、住民票が他市のまま宝塚市内にお住まいの他市新規申請者の認定調査業務を実施しています。

介護保険の申請者数は毎年増加傾向にあり、今年度の当ステーションの調査票提出件数は前年度を142件上回り、5,383件となりました。高齢者世帯・病院・施設での調査となるため、引き続きコロナウイルス感染対策の徹底と在宅勤務を継続し、実施しました。

また、令和4年4月以降働き方を見直し、出来高払い制から時給制へと変更しました。当初は時間に制約される業務方法に各調査員は戸惑い、残業時間が増える等諸問題も有りましたが、工夫を重ね徐々に業務効率が向上しています。

更に、調査員のスキルアップのため、係内ミーティングを活用した情報共有、スタッフが主体的に参画できるグループワークを実施し、専門性の強化に取り組みました。

来年度は『ともに助け合い、成長し、地域から信頼される認定調査ステーションを目指しましょう!』をスローガンに掲げ、更に丁寧で細やかな調査を心掛けてまいります。

(24) 視察等受入状況

ア) 視察・施設見学内容

2022年度は受入実績なし

イ) 実習・体験学習受入内容

ステップハウス宝塚

7/6	宝塚市立看護専門学校：老年看護実習Ⅱ	6
7/26	宝塚市立看護専門学校：老年看護実習Ⅱ	7
9/8	宝塚市立看護専門学校：老年看護実習Ⅱ	6
10/18	宝塚市立看護専門学校：老年看護実習Ⅱ	6
計 4 件		25 人

通所リハビリテーション

9/6～9/9	宝塚医療大：通所リハビリ場面での見学実習	1
2/13～2/15	甲南女子大：通所リハビリ場面での見学実習	1
計 2 件		2 人

ステップこはま訪問看護ステーション

5/17 ～ 5/24	宝塚市立看護専門学校	3
6/7 ～ 6/14	宝塚市立看護専門学校	2
6/28 ～ 7/5	宝塚市立看護専門学校	2
7/19 ～ 7/26	宝塚市立看護専門学校	3
7/19 ～ 7/26	宝塚市立看護専門学校	2
8/29 ～ 9/5	宝塚市立看護専門学校	2
9/20 ～ 9/27	宝塚市立看護専門学校	2
10/18 ～ 10/25	宝塚市立看護専門学校	2
10/31 ～ 11/1	宝塚市立看護専門学校	2
11/2 ～ 11/4	宝塚市立看護専門学校	2
2/17 ～ 2/22	兵庫医科大学	2
計 11 件		24 人

ステップこはまケアプランステーション

5/16	宝塚市立看護専門学校	1
6/6	宝塚市立看護専門学校	1
7/15	宝塚市立看護専門学校	1
9/6	宝塚市立看護専門学校	1
9/16	宝塚市立看護専門学校	2
10/17	宝塚市立看護専門学校	1
10/31	宝塚市立看護専門学校	1
11/2	宝塚市立看護専門学校	1
11/4	宝塚市立看護専門学校	1
計 9 件		10 人

ステップごてんやまケアプランステーション

5/15	宝塚市立看護専門学校	2
6/6	宝塚市立看護専門学校	1
6/27	宝塚市立看護専門学校	1
7/15	宝塚市立看護専門学校	1
9/6	宝塚市立看護専門学校	1
9/16	宝塚市立看護専門学校	1
10/17	宝塚市立看護専門学校	1
10/31～11/1	宝塚市立看護専門学校	1
11/2、11/4	宝塚市立看護専門学校	1
計 9 件		10 人

小浜地域包括支援センター

5/12～5/13	宝塚市立看護専門学校：在宅看護論	1
6/2～6/3	宝塚市立看護専門学校：在宅看護論	2
7/13～7/14	宝塚市立看護専門学校：在宅看護論	2
9/14～9/15	宝塚市立看護専門学校：在宅看護論	2
10/13～10/14	宝塚市立看護専門学校：在宅看護論	1
10/31～11/1	宝塚市立看護専門学校：地域看護	1
11/2, 4	宝塚市立看護専門学校：地域看護	1
計 7 件		10 人

御殿山地域包括支援センター

5/12～5/13	宝塚市立看護専門学校:在宅看護論	2
6/23～6/24	宝塚市立看護専門学校:在宅看護論	2
8/26	宝塚市立看護専門学校:在宅看護論	2
9/14～9/15	宝塚市立看護専門学校:在宅看護論	1
10/18～10/20	宝塚市立看護専門学校:在宅看護論	1
11/1	宝塚市立看護専門学校:在宅看護論	1
計 6 件		9 人

2022年度
決算報告書

(2022年4月1日～2023年3月31日)

一般財団法人宝塚市保健福祉サービス公社

正味財産増減計算書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

一般財団法人 宝塚市保健福祉サービス公社

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
基本財産運用益	4,000	5,134	△ 1,134
基本財産受取利息	4,000	5,134	△ 1,134
特定資産運用益	1	0	1
特定資産受取利息	1	0	1
受取会費	375,300	363,000	12,300
事業収益	1,168,846,684	1,106,202,103	62,644,581
受取補助金等	20,587,467	1,217,938	19,369,529
受取助成金	0	100,000	△ 100,000
受取補助金	19,486,415	892,000	18,594,415
受取補助金等振替額	1,101,052	225,938	875,114
受取寄附金	0	6,000	△ 6,000
雑収益	14,304,520	13,079,381	1,225,139
経常収益計	1,204,117,972	1,120,873,556	83,244,416
(2)経常費用			
事業費	1,160,995,103	1,116,515,606	44,479,497
役員報酬	4,502,340	4,299,480	202,860
給料手当	489,384,574	469,519,675	19,864,899
臨時雇賃金	217,563,187	217,897,461	△ 334,274
法定福利費	112,595,420	107,174,684	5,420,736
賞与引当金繰入額	52,601,580	49,161,995	3,439,585
退職給付費用	34,253,046	33,714,655	538,391
福利厚生費	2,723,904	2,727,813	△ 3,909
職員被服費	382,965	325,688	57,277
旅費交通費	333,180	289,055	44,125
通信運搬費	10,924,765	11,108,990	△ 184,225
減価償却費	21,347,709	18,587,018	2,760,691
消耗品費	19,507,511	15,940,566	3,566,945
医薬品費	4,629,610	4,373,775	255,835
食糧費	3,236,542	2,731,778	504,764
修繕費	4,513,030	3,446,387	1,066,643
印刷製本費	479,325	735,317	△ 255,992
燃料費	4,395,713	4,307,506	88,207
光熱水料費	45,126,336	35,812,481	9,313,855
賃借料	20,431,689	23,733,753	△ 3,302,064
保険料	2,888,753	2,897,518	△ 8,765
支払負担金	55,000	77,000	△ 22,000
諸謝金	7,087,570	6,722,961	364,609
租税公課	6,891,636	6,660,417	231,219
報償費	175,000	44,600	130,400
委託費	89,465,455	89,154,463	310,992
会議費	6,467	0	6,467
地域交流費	182,446	95,134	87,312
研修費	832,165	816,880	15,285
諸会費	788,800	790,870	△ 2,070
手数料	2,667,927	2,390,026	277,901
支払利息	846,117	958,540	△ 112,423
雑費	175,341	19,120	156,221

正味財産増減計算書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

一般財団法人 宝塚市保健福祉サービス公社

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
管理費	11,443,831	15,422,221	△ 3,978,390
役員報酬	563,760	905,720	△ 341,960
給料手当	3,255,972	3,215,588	40,384
法定福利費	526,364	657,537	△ 131,173
賞与引当金繰入額	306,620	343,505	△ 36,885
退職給付費用	248,644	262,835	△ 14,191
福利厚生費	26,702	29,269	△ 2,567
採用費	2,586,177	5,862,450	△ 3,276,273
職員被服費	0	352	△ 352
旅費交通費	550	1,115	△ 565
通信運搬費	45,191	48,507	△ 3,316
減価償却費	158,749	138,083	20,666
消耗品費	58,642	183,880	△ 125,238
修繕費	1,353,152	1,476,600	△ 123,448
印刷製本費	13,256	15,655	△ 2,399
燃料費	1,294	1,265	29
光熱水料費	48,282	48,000	282
賃借料	90,967	110,605	△ 19,638
保険料	161,324	159,876	1,448
諸謝金	837,886	760,465	77,421
租税公課	84,834	100,716	△ 15,882
委託費	655,282	654,425	857
研修費	274,880	254,700	20,180
諸会費	11,200	11,430	△ 230
手数料	118,556	136,785	△ 18,229
支払利息	15,547	19,973	△ 4,426
雑費	0	22,885	△ 22,885
經常費用計	1,172,438,934	1,131,937,827	40,501,107
当期經常増減額	31,679,038	△ 11,064,271	42,743,309
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
經常外収益計	0	0	0
(2) 經常外費用			
固定資産除却損	446,549	33,709	412,840
經常外費用計	446,549	33,709	412,840
当期經常外増減額	△ 446,549	△ 33,709	△ 412,840
税引前当期一般正味財産増減額	31,232,489	△ 11,097,980	42,330,469
法人税、住民税及び事業税	82,000	82,000	0
当期一般正味財産増減額	31,150,489	△ 11,179,980	42,330,469
一般正味財産期首残高	199,673,376	210,853,356	△ 11,179,980
一般正味財産期末残高	230,823,865	199,673,376	31,150,489
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等			
受取補助金	0	5,271,000	△ 5,271,000
一般正味財産への振替額	△ 1,101,052	△ 225,938	△ 875,114
当期指定正味財産増減額	△ 1,101,052	5,045,062	△ 6,146,114
指定正味財産期首残高	205,083,591	200,038,529	5,045,062
指定正味財産期末残高	203,982,539	205,083,591	△ 1,101,052
III 正味財産期末残高	434,806,404	404,756,967	30,049,437

正味財産増減計算書内訳表

2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位：円)

科 目	実施事業等会計			小計	その他会計		法人会計	合計
	継1	継2	継3		他1	小計		
	教育・啓発事業	地域福祉 サポート事業	認定調査事業		介護保険事業			
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	4,000	4,000
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	4,000	4,000
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	1	1
特定資産受取利息	0	0	0	0	0	0	1	1
受取会費	0	375,300	0	375,300	0	0	0	375,300
事業収益	708,084	38,797,429	29,940,900	69,446,413	1,099,400,271	1,099,400,271	0	1,168,846,684
受取補助金等	0	0	0	0	20,587,467	20,587,467	0	20,587,467
受取補助金	0	0	0	0	19,486,415	19,486,415	0	19,486,415
受取補助金等振替額	0	0	0	0	1,101,052	1,101,052	0	1,101,052
雑収益	0	0	0	0	13,476,343	13,476,343	828,177	14,304,520
経常収益計	708,084	39,172,729	29,940,900	69,821,713	1,133,464,081	1,133,464,081	832,178	1,204,117,972
(2) 経常費用								
事業費	4,575,915	48,731,121	37,189,952	90,496,988	1,070,498,115	1,070,498,115	0	1,160,995,103
役員報酬	82,458	109,944	257,832	450,234	4,052,106	4,052,106	0	4,502,340
給料手当	3,136,528	14,344,585	9,258,155	26,739,268	462,645,306	462,645,306	0	489,384,574
臨時雇賃金	0	15,906,236	18,287,017	34,193,253	183,369,934	183,369,934	0	217,563,187
法定福利費	300,832	4,681,627	3,255,046	8,237,505	104,357,915	104,357,915	0	112,595,420
賞与引当金繰入額	91,986	1,874,243	874,324	2,840,553	49,761,027	49,761,027	0	52,601,580
退職給付費用	74,592	1,066,837	826,387	1,967,816	32,285,230	32,285,230	0	34,253,046
福利厚生費	8,010	146,920	136,807	291,737	2,432,167	2,432,167	0	2,723,904
職員被服費	0	9,350	11,440	20,790	362,175	362,175	0	382,965
旅費交通費	168	50,594	14,571	65,333	267,847	267,847	0	333,180
通信運搬費	25,217	1,267,005	398,790	1,691,012	9,233,753	9,233,753	0	10,924,765
減価償却費	0	15,074	13,861	28,935	21,318,774	21,318,774	0	21,347,709
消耗品費	160,161	1,184,285	142,046	1,486,492	18,021,019	18,021,019	0	19,507,511
医薬品費	0	0	0	0	4,629,610	4,629,610	0	4,629,610
食糧費	0	0	0	0	3,236,542	3,236,542	0	3,236,542
修繕費	516	10,948	39,796	51,260	4,461,770	4,461,770	0	4,513,030
印刷製本費	121,503	169,239	2,652	293,394	185,931	185,931	0	479,325
燃料費	390	87,969	61,271	149,630	4,246,083	4,246,083	0	4,395,713
光熱水料費	14,484	171,351	9,656	195,491	44,930,845	44,930,845	0	45,126,336
賃借料	27,291	994,072	1,083,316	2,104,679	18,327,010	18,327,010	0	20,431,689
保険料	8,554	941,701	83,952	1,034,207	1,854,546	1,854,546	0	2,888,753
支払負担金	0	55,000	0	55,000	0	0	0	55,000
諸謝金	227,604	454,088	151,737	833,429	6,254,141	6,254,141	0	7,087,570
租税公課	50,775	2,483,109	2,066,215	4,600,099	2,291,537	2,291,537	0	6,891,636
報償費	0	165,000	0	165,000	10,000	10,000	0	175,000
委託費	197,728	1,846,641	131,056	2,175,425	87,290,030	87,290,030	0	89,465,455
会議費	0	6,467	0	6,467	0	0	0	6,467
地域交流費	0	182,446	0	182,446	0	0	0	182,446
研修費	2,868	3,824	42,692	49,384	782,781	782,781	0	832,165
諸会費	3,360	4,480	2,240	10,080	778,720	778,720	0	788,800
手数料	36,225	491,866	32,923	561,014	2,106,913	2,106,913	0	2,667,927
支払利息	4,665	6,220	3,110	13,995	832,122	832,122	0	846,117
雑費	0	0	3,060	3,060	172,281	172,281	0	175,341
管理費	0	0	0	0	0	0	11,443,831	11,443,831
役員報酬	0	0	0	0	0	0	563,760	563,760
給料手当	0	0	0	0	0	0	3,255,972	3,255,972
法定福利費	0	0	0	0	0	0	526,364	526,364
賞与引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	306,620	306,620
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	248,644	248,644
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	26,702	26,702
採用費	0	0	0	0	0	0	2,586,177	2,586,177
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	550	550
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	45,191	45,191
減価償却費	0	0	0	0	0	0	158,749	158,749
消耗品費	0	0	0	0	0	0	58,642	58,642
修繕費	0	0	0	0	0	0	1,353,152	1,353,152
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	13,256	13,256
燃料費	0	0	0	0	0	0	1,294	1,294
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	48,282	48,282
賃借料	0	0	0	0	0	0	90,967	90,967
保険料	0	0	0	0	0	0	161,324	161,324
諸謝金	0	0	0	0	0	0	837,886	837,886
租税公課	0	0	0	0	0	0	84,834	84,834
委託費	0	0	0	0	0	0	655,282	655,282
研修費	0	0	0	0	0	0	274,880	274,880
諸会費	0	0	0	0	0	0	11,200	11,200
手数料	0	0	0	0	0	0	118,556	118,556
支払利息	0	0	0	0	0	0	15,547	15,547
経常費用計	4,575,915	48,731,121	37,189,952	90,496,988	1,070,498,115	1,070,498,115	11,443,831	1,172,438,934
当期経常増減額	△ 3,867,831	△ 9,558,392	△ 7,249,052	△ 20,675,275	62,965,966	62,965,966	△ 10,611,653	31,679,038
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
固定資産除却損	0	0	0	0	446,549	446,549	0	446,549
経常外費用計	0	0	0	0	446,549	446,549	0	446,549
当期経常外増減額	0	0	0	0	△ 446,549	△ 446,549	0	△ 446,549
税引前当期一般正味財産増減額	△ 3,867,831	△ 9,558,392	△ 7,249,052	△ 20,675,275	62,519,417	62,519,417	△ 10,611,653	31,232,489
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	0	0	82,000	82,000
当期一般正味財産増減額	△ 3,867,831	△ 9,558,392	△ 7,249,052	△ 20,675,275	62,519,417	62,519,417	△ 10,693,653	31,150,489
II 指定正味財産増減の部								
受取補助金等	0	0	0	0	△ 1,101,052	△ 1,101,052	0	△ 1,101,052
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	△ 1,101,052	△ 1,101,052	0	△ 1,101,052
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	△ 1,101,052	△ 1,101,052	0	△ 1,101,052

正味財産増減計算書内訳表

2022年4月1日から2023年3月31日まで

一般財団法人 宝塚市保健福祉サービス公社

(単位：円)

科目	実施事業等会計										小計
	継1			継2				継3			
	普及啓発	実習受入	ヘルパー 養成研修	教育・啓発事業	シルバー ハウジング	育児ファミリー	介護ファミリー	通所型介護予防	地域福祉 サポート事業	認定調査事業	
I 一般正味財産増減の部											
1. 経常増減の部											
(1) 経常収益											
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取会費	0	0	0	0	0	0	375,300	0	375,300	0	375,300
事業補助金等	0	191,800	516,284	708,084	17,045,268	10,199,000	7,269,783	4,283,378	38,797,429	29,940,900	69,446,413
受取補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取補助金等振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常収益計	0	191,800	516,284	708,084	17,045,268	10,199,000	7,645,083	4,283,378	39,172,729	29,940,900	69,821,713
(2) 経常費用											
事業費	766,649	2,398,037	1,411,229	4,575,915	18,070,841	12,163,209	8,464,766	10,032,305	48,731,121	37,189,952	90,496,988
役員報酬	27,486	27,486	27,486	82,458	27,486	27,486	27,486	27,486	109,944	257,832	450,234
給料手当	325,598	1,950,608	860,322	3,136,528	4,658,425	4,560,380	655,328	4,470,452	14,344,585	9,258,155	26,739,268
臨時雇賃金	0	0	0	0	6,032,752	3,359,010	4,048,153	2,466,321	15,906,236	18,287,017	34,193,253
法定福利費	52,637	163,972	84,223	300,832	1,847,338	1,379,133	662,907	792,249	4,681,627	3,255,046	8,237,505
賞与引当金繰入額	30,662	30,662	30,662	91,986	582,767	641,482	122,682	527,312	1,874,243	874,324	2,840,553
退職給付費用	24,864	24,864	24,864	74,592	316,220	322,806	45,276	382,535	1,066,837	826,387	1,967,816
福利厚生費	2,670	2,670	2,670	8,010	34,786	22,107	15,135	74,892	146,920	136,807	291,737
職員被服費	0	0	0	0	1,760	0	0	7,590	9,350	11,440	20,790
旅費交通費	56	56	56	168	2,456	20,206	27,876	56	50,594	14,571	65,333
通信運搬費	4,519	4,519	16,179	25,217	148,074	605,183	429,197	84,551	1,267,005	398,790	1,691,012
減価償却費	0	0	0	0	0	3,525	11,549	0	15,074	13,861	28,935
消耗品費	5,372	5,372	149,417	160,161	692,063	49,651	430,261	12,310	1,184,285	142,046	1,486,492
医薬品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
食糧費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
修繕費	172	172	172	516	8,252	172	172	2,352	10,948	39,796	51,260
印刷製本費	118,851	1,326	1,326	121,503	1,326	35,561	131,026	1,326	169,239	2,652	293,394
燃料費	130	130	130	390	31,164	130	46,546	10,129	87,969	61,271	149,630
光熱水料費	4,828	4,828	4,828	14,484	156,867	4,828	4,828	4,828	171,351	9,656	195,491
賃借料	9,097	9,097	9,097	27,291	141,255	208,337	569,786	74,694	994,072	1,083,316	2,104,679
保険料	1,518	1,518	5,518	8,554	35,228	490,107	395,758	20,608	941,701	83,952	1,034,207
支払負担金	0	0	0	0	0	55,000	0	55,000	0	55,000	55,000
諸謝金	75,868	75,868	75,868	227,604	75,868	223,144	79,208	75,868	454,088	151,737	833,429
租税公課	647	13,875	36,253	50,775	1,532,738	647	653,667	296,057	2,483,109	2,066,215	4,600,099
報償費	0	0	0	0	0	0	0	165,000	165,000	0	165,000
委託費	65,528	65,528	66,672	197,728	1,543,928	137,600	65,528	99,585	1,846,641	131,056	2,175,425
会議費	0	0	0	0	0	0	6,467	0	6,467	0	6,467
地域交流費	0	0	0	0	182,446	0	0	0	182,446	0	182,446
研修費	956	956	956	2,868	956	956	956	956	3,824	42,692	49,384
諸会費	1,120	1,120	1,120	3,360	1,120	1,120	1,120	1,120	4,480	2,240	10,080
手数料	12,515	11,855	11,855	36,225	14,011	13,083	32,299	432,473	491,866	32,923	561,014
支払利息	1,555	1,555	0	4,665	1,555	1,555	1,555	1,555	6,220	3,110	13,995
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,060	3,060
管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
役員報酬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法定福利費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
賞与引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
採用費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燃料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
諸謝金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
研修費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
諸会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
手数料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支払利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常費用計	766,649	2,398,037	1,411,229	4,575,915	18,070,841	12,163,209	8,464,766	10,032,305	48,731,121	37,189,952	90,496,988
当期経常増減額	△ 766,649	△ 2,206,237	△ 894,945	△ 3,867,831	△ 1,025,573	△ 1,964,209	△ 819,683	△ 5,748,927	△ 9,558,392	△ 7,249,052	△ 20,675,275
2. 経常外増減の部											
(1) 経常外収益											
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用											
固定資産除却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 766,649	△ 2,206,237	△ 894,945	△ 3,867,831	△ 1,025,573	△ 1,964,209	△ 819,683	△ 5,748,927	△ 9,558,392	△ 7,249,052	△ 20,675,275
法人税・住民税及び事業税	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 766,649	△ 2,206,237	△ 894,945	△ 3,867,831	△ 1,025,573	△ 1,964,209	△ 819,683	△ 5,748,927	△ 9,558,392	△ 7,249,052	△ 20,675,275
II 指定正味財産増減の部											
受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

正味財産増減計算書内訳表

2022年4月1日から2023年3月31日まで

一般財団法人 宝塚市保健福祉サービス公社

(単位：円)

科 目	その他会計							
	他1							
	訪問看護	介護老人 保健施設	通所リハビリ	訪問リハビリ	ごてんやま 居宅介護	こはま居宅介護	こはま訪問介護	通所介護
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0
受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0
事業収益	74,503,209	444,815,165	86,943,677	17,074,228	49,028,992	46,962,707	62,730,612	122,965,142
受取補助金等	797,000	13,136,269	811,632	70,000	55,000	55,000	1,366,820	1,055,351
受取補助金	797,000	12,035,217	811,632	70,000	55,000	55,000	1,366,820	1,055,351
受取補助金等振替額	0	1,101,052	0	0	0	0	0	0
雑収益	189,509	11,129,069	13,340	770	323,809	3,000	44,597	1,439,215
経常収益計	75,489,718	469,080,503	87,768,649	17,144,998	49,407,801	47,020,707	64,142,029	125,459,708
(2) 経常費用								
事業費	66,593,167	427,362,287	86,396,867	14,613,798	46,144,563	35,849,474	65,458,807	126,354,403
役員報酬	570,636	742,122	219,888	54,972	434,520	434,520	502,578	274,860
給料手当	33,166,745	193,340,959	32,709,510	7,285,681	15,973,246	14,191,445	25,651,997	37,248,759
臨時雇賃金	13,297,626	28,114,275	16,719,168	3,232,422	15,373,232	12,194,588	23,781,804	35,171,146
法定福利費	7,962,681	35,733,841	7,827,971	1,857,775	5,436,753	4,538,634	6,127,821	11,648,507
賞与引当金繰入額	3,487,116	19,853,764	4,195,391	837,264	1,959,448	1,367,948	2,691,470	4,879,480
退職給付費用	2,396,744	13,597,875	2,364,090	545,795	1,120,183	635,313	1,466,279	2,860,905
福利厚生費	172,108	875,218	176,127	38,347	80,475	61,600	253,384	300,650
職員被服費	54,230	63,710	98,065	21,065	40,480	4,400	0	38,555
旅費交通費	15,603	28,699	1,044	5,131	50,272	28,122	4,318	6,675
通信運搬費	1,732,575	1,154,645	176,668	90,703	714,631	541,041	864,219	692,387
減価償却費	726,133	8,719,050	2,447,327	52,076	375,531	179,036	1,061,025	4,019,563
消耗品費	422,545	12,332,044	681,747	98,144	389,895	218,050	413,049	1,499,153
医薬品費	0	4,539,696	480	0	0	0	0	89,434
食糧費	0	2,348,791	237,988	0	0	0	0	646,222
修繕費	228,236	1,797,443	549,844	35,513	225,391	60,347	279,193	638,946
印刷製本費	7,956	73,299	10,607	2,652	5,304	5,304	6,300	16,889
燃料費	205,660	5,184	1,095,132	35,696	75,879	40,597	270,900	2,119,204
光熱水料費	148,969	29,941,997	7,489,052	9,656	255,865	139,313	144,141	6,194,470
賃借料	659,608	2,285,011	1,865,215	61,343	2,313,565	331,510	795,659	4,445,641
保険料	171,331	159,890	281,856	18,367	104,534	58,150	111,770	554,243
支払負担金	0	0	0	0	0	0	0	0
諸謝金	455,210	2,098,447	606,947	151,737	303,474	303,474	379,342	758,684
租税公課	13,756	1,955,513	84,603	1,430	24,921	2,796	79,551	105,395
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0
委託費	393,169	65,612,516	6,332,060	131,056	646,092	262,112	327,641	11,678,450
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0
地域交流費	0	0	0	0	0	0	0	0
研修費	49,236	204,592	20,648	17,912	150,824	175,664	8,780	9,560
諸会費	53,095	639,615	12,335	2,240	7,855	7,855	8,975	14,575
手数料	192,869	812,288	111,982	23,711	75,973	61,435	208,022	287,442
支払利息	9,330	154,339	81,122	3,110	6,220	6,220	7,775	152,320
雑費	0	157,464	0	0	0	0	12,484	2,178
管理費	0	0	0	0	0	0	0	0
役員報酬	0	0	0	0	0	0	0	0
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0
法定福利費	0	0	0	0	0	0	0	0
賞与引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0	0
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0
採用費	0	0	0	0	0	0	0	0
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	0
燃料費	0	0	0	0	0	0	0	0
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	0	0
賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0
保険料	0	0	0	0	0	0	0	0
諸謝金	0	0	0	0	0	0	0	0
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0
委託費	0	0	0	0	0	0	0	0
研修費	0	0	0	0	0	0	0	0
諸会費	0	0	0	0	0	0	0	0
手数料	0	0	0	0	0	0	0	0
支払利息	0	0	0	0	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0
経常費用計	66,593,167	427,362,287	86,396,867	14,613,798	46,144,563	35,849,474	65,458,807	126,354,403
当期経常増減額	8,896,551	41,718,216	1,371,782	2,531,200	3,263,238	11,171,233	△ 1,316,778	△ 894,696
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
固定資産除却損	1	223,274	223,273	0	0	0	0	1
経常外費用計	1	223,274	223,273	0	0	0	0	1
当期経常外増減額	△ 1	△ 223,274	△ 223,273	0	0	0	0	△ 1
税引前当期一般正味財産増減額	8,896,550	41,494,942	1,148,509	2,531,200	3,263,238	11,171,233	△ 1,316,778	△ 894,696
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	8,896,550	41,494,942	1,148,509	2,531,200	3,263,238	11,171,233	△ 1,316,778	△ 894,696
II 指定正味財産増減の部								
受取補助金等								
一般正味財産への振替額	0	△ 1,101,052	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	△ 1,101,052	0	0	0	0	0	0

正味財産増減計算書内訳表

2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位：円)

科目	その他会計					小計	法人会計	合計
	定期巡回	ベルフラワー	御殿山地域包括	小浜地域包括	介護保険事業			
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	4,000	4,000
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	4,000	4,000
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	1	1
特定資産受取利息	0	0	0	0	0	0	1	1
受取会費	0	0	0	0	0	0	0	375,300
事業収益	66,638,019	25,262,429	56,309,733	46,166,358	1,099,400,271	1,099,400,271	0	1,168,846,684
受取補助金等	3,185,395	55,000	0	0	20,587,467	20,587,467	0	20,587,467
受取補助金	3,185,395	55,000	0	0	19,486,415	19,486,415	0	19,486,415
受取補助金等振替額	0	0	0	0	1,101,052	1,101,052	0	1,101,052
雑収益	137,014	106,020	90,000	0	13,476,343	13,476,343	828,177	14,304,520
経常収益計	69,960,428	25,423,449	56,399,733	46,166,358	1,133,464,081	1,133,464,081	832,178	1,204,117,972
(2) 経常費用								
事業費	65,077,972	30,860,729	57,242,510	48,543,538	1,070,498,115	1,070,498,115	0	1,160,995,103
役員報酬	570,636	54,972	109,944	82,458	4,052,106	4,052,106	0	4,502,340
給料手当	25,247,357	19,679,581	30,766,582	27,383,444	462,645,306	462,645,306	0	489,384,574
臨時雇賃金	22,113,049	509,240	7,522,476	5,340,908	183,369,934	183,369,934	0	217,563,187
法定福利費	7,502,131	3,548,753	6,395,780	5,777,718	104,357,915	104,357,915	0	112,595,420
賞与引当金繰入額	2,788,768	1,512,364	2,983,908	3,203,746	49,761,027	49,761,027	0	52,601,580
退職給付費用	1,752,671	1,368,393	2,264,793	1,912,189	32,285,230	32,285,230	0	34,253,046
福利厚生費	172,424	66,227	126,867	108,740	2,432,167	2,432,167	0	2,723,904
職員旅費	19,360	2,310	0	0	362,175	362,175	0	382,965
旅費交通費	1,033	101,951	18,222	6,767	267,847	267,847	0	333,180
通信運搬費	1,032,098	585,666	827,863	821,257	9,233,753	9,233,753	0	10,924,765
減価償却費	898,113	136,142	1,438,194	1,266,584	21,318,774	21,318,774	0	21,347,709
消耗品費	459,564	333,371	695,940	477,517	18,021,019	18,021,019	0	19,507,511
医薬品費	0	0	0	0	4,629,610	4,629,610	0	4,629,610
食糧費	0	0	0	3,541	3,236,542	3,236,542	0	3,236,542
修繕費	279,484	120,310	185,946	61,117	4,461,770	4,461,770	0	4,513,030
印刷製本費	7,956	2,652	25,304	21,378	185,931	185,931	0	479,325
燃料費	178,670	83,259	72,324	63,578	4,246,083	4,246,083	0	4,395,713
光熱水料費	28,969	128,064	255,865	194,484	44,930,845	44,930,845	0	45,126,336
賃借料	354,390	1,922,429	2,261,472	1,031,167	18,327,010	18,327,010	0	20,431,689
保険料	102,186	68,179	112,110	111,930	1,854,546	1,854,546	0	2,888,753
支払負担金	0	0	0	0	0	0	0	55,000
諸謝金	514,010	151,737	303,474	227,605	6,254,141	6,254,141	0	7,087,570
租税公課	4,643	8,191	8,796	1,942	2,291,537	2,291,537	0	6,991,636
報償費	0	0	5,000	5,000	10,000	10,000	0	175,000
委託費	749,702	344,436	616,212	196,584	87,290,030	87,290,030	0	89,465,455
会議費	0	0	0	0	0	0	0	6,467
地域交流費	0	0	0	0	0	0	0	182,446
研修費	6,341	62,932	22,824	53,468	782,781	782,781	0	832,165
諸会費	22,095	2,240	4,480	3,360	778,720	778,720	0	788,800
手数料	127,920	64,220	81,844	59,007	2,106,913	2,106,913	0	2,667,927
支払利息	144,247	3,110	136,280	128,049	832,122	832,122	0	846,117
雑費	155	0	0	0	172,281	172,281	0	175,341
管理費	0	0	0	0	0	0	11,443,831	11,443,831
役員報酬	0	0	0	0	0	0	563,760	563,760
給料手当	0	0	0	0	0	0	3,255,972	3,255,972
法定福利費	0	0	0	0	0	0	526,364	526,364
賞与引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	306,620	306,620
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	248,644	248,644
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	26,702	26,702
採用費	0	0	0	0	0	0	2,586,177	2,586,177
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	550	550
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	45,191	45,191
減価償却費	0	0	0	0	0	0	158,749	158,749
消耗品費	0	0	0	0	0	0	58,642	58,642
修繕費	0	0	0	0	0	0	1,353,152	1,353,152
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	13,256	13,256
燃料費	0	0	0	0	0	0	1,294	1,294
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	48,282	48,282
賃借料	0	0	0	0	0	0	90,967	90,967
保険料	0	0	0	0	0	0	161,324	161,324
諸謝金	0	0	0	0	0	0	837,886	837,886
租税公課	0	0	0	0	0	0	84,834	84,834
委託費	0	0	0	0	0	0	655,282	655,282
研修費	0	0	0	0	0	0	274,880	274,880
諸会費	0	0	0	0	0	0	11,200	11,200
手数料	0	0	0	0	0	0	118,556	118,556
支払利息	0	0	0	0	0	0	15,547	15,547
経常費用計	65,077,972	30,860,729	57,242,510	48,543,538	1,070,498,115	1,070,498,115	11,443,831	1,172,438,934
当期経常増減額	4,882,456	△ 5,437,280	△ 842,777	△ 2,377,180	62,965,966	62,965,966	△ 10,611,653	31,679,038
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
固定資産除却損	0	0	0	0	446,549	446,549	0	446,549
経常外費用計	0	0	0	0	446,549	446,549	0	446,549
当期経常外増減額	0	0	0	0	△ 446,549	△ 446,549	0	△ 446,549
税引前当期一般正味財産増減額	4,882,456	△ 5,437,280	△ 842,777	△ 2,377,180	62,519,417	62,519,417	△ 10,611,653	31,232,489
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	0	0	82,000	82,000
当期一般正味財産増減額	4,882,456	△ 5,437,280	△ 842,777	△ 2,377,180	62,519,417	62,519,417	△ 10,693,653	31,150,489
II 指定正味財産増減の部								
受取補助金等	0	0	0	0	△ 1,101,052	△ 1,101,052	0	△ 1,101,052
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	△ 1,101,052	△ 1,101,052	0	△ 1,101,052
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	△ 1,101,052	△ 1,101,052	0	△ 1,101,052

貸借対照表

2023年 3月31日現在

一般財団法人 宝塚市保健福祉サービス公社

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現 金 預 金	116,305,450	95,524,239	20,781,211
未 収 金	171,259,367	165,789,797	5,469,570
未 収 収 益	1,342	1,341	1
前 払 金	319,800	349,300	△ 29,500
前 払 費 用	3,342,255	2,230,757	1,111,498
立 替 金	840,358	47,980	792,378
流動資産合計	292,068,572	263,943,414	28,125,158
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定 期 預 金	200,000,000	200,000,000	0
基本財産合計	200,000,000	200,000,000	0
(2) 特定資産			
修 繕 積 立 資 産	10,000,000	0	10,000,000
建 物 附 属 設 備	3,725,856	4,147,651	△ 421,795
車 両 運 搬 具 品	2	2	0
什 器 備 品	2,717,031	3,396,288	△ 679,257
特定資産合計	16,442,889	7,543,941	8,898,948
(3) その他固定資産			
建 物 附 属 設 備	2,095,564	2,283,832	△ 188,268
建 物 附 属 設 備	35,125,950	37,467,019	△ 2,341,069
構 築 物 具 品	420,421	1,355,831	△ 935,410
車 両 運 搬 具 品	5,656,706	8,884,539	△ 3,227,833
什 器 備 品	29,411,714	27,556,338	1,855,376
ソ フ ト ウ ェ ア	880,163	700,549	179,614
保 証 資 金	500,000	500,000	0
出 資 金	100,000	100,000	0
その他固定資産合計	74,190,518	78,848,108	△ 4,657,590
固定資産合計	290,633,407	286,392,049	4,241,358
資産合計	582,701,979	550,335,463	32,366,516
II 負債の部			
1. 流動負債			
未 払 法 人 金 税	47,975,081	45,857,122	2,117,959
未 払 消 費 税	82,000	82,000	0
未 払 費 用	2,262,500	2,118,000	144,500
預 り 金	12,792,866	12,162,925	629,941
賞 与 引 当 金	6,406,548	5,632,949	773,599
1年内返済予定リース債務	52,908,200	49,505,500	3,402,700
	9,302,079	8,465,698	836,381
流動負債合計	131,729,274	123,824,194	7,905,080
2. 固定負債			
リ ー ス 債 務	16,166,301	21,754,302	△ 5,588,001
固定負債合計	16,166,301	21,754,302	△ 5,588,001
負債合計	147,895,575	145,578,496	2,317,079
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
定 期 預 金	200,000,000	200,000,000	0
建 物 附 属 設 備	2,383,906	2,805,701	△ 421,795
車 両 運 搬 具 品	2	2	0
什 器 備 品	1,598,631	2,277,888	△ 679,257
指定正味財産合計	203,982,539	205,083,591	△ 1,101,052
(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)	(200,000,000)	0
(うち特定資産への充当額)	(3,982,539)	(5,083,591)	△ 1,101,052
2. 一般正味財産	230,823,865	199,673,376	31,150,489
(うち特定資産への充当額)	(12,460,350)	(2,460,350)	10,000,000
正味財産合計	434,806,404	404,756,967	30,049,437
負債及び正味財産合計	582,701,979	550,335,463	32,366,516

財産目録

2023年 3月31日現在

一般財団法人 宝塚市保健福祉サービス公社

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金として	420,000
預金	郵便貯金	運転資金として	420,000
	郵便貯金 (1120-3-68145)	運転資金として	723,578
	普通預金		723,578
	三菱UFJ銀行 宝塚中山支店 (3680612)		115,161,872
未収金		主として介護報酬等	115,161,872
未収収益		定期預金利息の未収分	171,259,367
前払金		4月分の前払家賃・駐車場代	1,342
前払費用		保険料、システム保守料 他	319,800
立替金	依頼会員、利用者等に対する	提供会員報酬、保険対応等の立替払い 他	3,342,255
			840,358
流動資産合計			292,068,572
(固定資産)			
基本財産			
預金	定期預金	運用益を介護保険事業等の 財源として使用	200,000,000
	尼崎信用金庫 宝塚支店		101,000,000
	池田泉州銀行 逆瀬川支店		99,000,000
特定資産			
修繕積立資産	定期預金	介護保険事業等の積立資産を 資産修繕資金として管理	10,000,000
	尼崎信用金庫 宝塚支店		
その他 固定資産			
建物附属設備		介護老人保健施設、定期巡回随時 対応型訪問介護看護事業に使用	3,725,856
車両運搬具			2
什器備品			2,717,031
建物	宝塚市小浜4-5-6	介護保険事業等の施設として使用	2,095,564
建物附属設備			35,125,950
構築物			420,421
車両運搬具			5,656,706
什器備品			29,411,714
ソフトウェア			880,163
保証金			500,000
出資金			100,000
固定資産合計			290,633,407
資産合計			582,701,979
(流動負債)			
未払金	宝塚石油他68件に 対する 他	介護保険事業等に供する備品 購入等の未払分 他	47,975,081
未払法人税等			82,000
未払消費税等			2,262,500
未払費用		法定福利費 夏季賞与(10~3月分)の 未払分 他	12,792,866
預り金		社会保険料、住民税等の預り分	6,406,548
賞与引当金		従業員247名に対する賞与の 支払いに備えたもの	52,908,200
1年内返済予定 リース債務	車両運搬具、什器備品		9,302,079
流動負債合計			131,729,274
(固定負債)			
リース債務	車両運搬具、什器備品		16,166,301
固定負債合計			16,166,301
負債合計			147,895,575
正味財産			434,806,404

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産(建物、構築物)・・・定額法による。

有形固定資産(建物附属設備)・・・定率法による。

ただし、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備については、定額法による。

有形固定資産(車両運搬具、什器備品)・・・定率法による。

無形固定資産(ソフトウェア)・・・定額法による。

リース資産(所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産)

・・・リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法による。

リース資産(所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産)

・・・自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法による。

(2) 引当金の計上基準

賞与引当金・・・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は、税込方式による。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	200,000,000	0	0	200,000,000
小 計	200,000,000	0	0	200,000,000
特定資産				
修繕積立資産	0	10,000,000	0	10,000,000
建物附属設備	4,147,651	0	421,795	3,725,856
車両運搬具	2	0	0	2
什器備品	3,396,288	0	679,257	2,717,031
小 計	7,543,941	10,000,000	1,101,052	16,442,889
合 計	207,543,941	10,000,000	1,101,052	216,442,889

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの 充当額)	(うち一般正味 財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	200,000,000	(200,000,000)	0	—
小 計	200,000,000	(200,000,000)	0	—
特定資産				
修繕積立資産	10,000,000	0	(10,000,000)	—
建物附属設備	3,725,856	(2,383,906)	(1,341,950)	—
車両運搬具	2	(2)	0	—
什器備品	2,717,031	(1,598,631)	(1,118,400)	—
小 計	16,442,889	(3,982,539)	(12,460,350)	—
合 計	216,442,889	(203,982,539)	(12,460,350)	—

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
特定資産			
建物附属設備	4,217,950	492,094	3,725,856
車両運搬具	265,280	265,278	2
什器備品	3,672,495	955,464	2,717,031
ソフトウェア	151,427	151,427	0
小 計	8,307,152	1,864,263	6,442,889
その他固定資産			
建物	4,295,500	2,199,936	2,095,564
建物附属設備	86,031,862	50,905,912	35,125,950
構築物	5,695,830	5,275,409	420,421
車両運搬具	29,312,327	23,655,621	5,656,706
什器備品	99,205,842	69,794,128	29,411,714
ソフトウェア	6,299,825	5,419,662	880,163
小 計	230,841,186	157,250,668	73,590,518
合 計	239,148,338	159,114,931	80,033,407

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
定期巡回事業補助金	宝塚市	3	0	0	3	指定正味財産
介護老人保健施設労働環境改善支援事業補助金	兵庫県	5,083,588	0	1,101,052	3,982,536	指定正味財産
合計		5,083,591	0	1,101,052	3,982,539	-

6 リース取引関係

(ファイナンス・リース取引)

所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース資産の内容:その他固定資産…車両運搬具及び什器備品

7 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内容	金額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	1,101,052
合計	1,101,052

附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載しているため、記載を省略しております。

2 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	49,505,500	52,908,200	49,505,500	0	52,908,200
合 計	49,505,500	52,908,200	49,505,500	0	52,908,200

監査報告書

一般財団法人宝塚市保健福祉サービス公社

監 査 報 告

2023年5月25日

一般財団法人 宝塚市保健福祉サービス公社
理事長 妙中 信之 殿

監事 柴 崎 崇



監事 平 井 利 文



私たち監事は、2022年4月1日から2023年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行に関して、本監査報告を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、法人事務所において業務及び財産の状況並びに公益目的支出計画の実施の状況を調査いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行いました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、財務諸表等（貸借対照表、正味財産増減計算書及びこれらの附属明細書）並びに公益目的支出計画実施報告書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 財務諸表等の監査結果

財務諸表等は、法人の財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

(3) 公益目的支出計画実施報告書の監査結果

公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

以 上